

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成26年6月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要
【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。

〔「好転(上昇、増加)」〕、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数

⇨ 前月比

- ➡製造業では、売上高において「増加した」業種は7から6に減少。「減少した」業種は4のまま変化なし。
- ➡非製造業では、売上高において「増加した」業種は6から9に増加。「減少した」業種は13から7に減少。
- ➡業界の景況では、「好転した」業種は5から3に減少。「悪化した」業種は6のまま変化なし。

⇨ 前年同月比

- ➡製造業では、売上高において「増加した」業種は5から4に減少。「減少した」業種は7のまま変化なし。
- ➡非製造業では、売上高において「増加した」業種は4から8に増加。「減少した」業種は15から9に減少。
- ➡業界の景況では、「好転した」業種は5から4に減少。「悪化した」業種は9のまま変化なし。

製造業

■豆腐製造

【県内全域】

国産大豆の高騰により大手企業に変化があった。

■酒類製造

【県内全域】

消費税引き上げの反動が続いており、悪化傾向。業務用の販売低調、個人向け商品は、比較的堅調。

■製材

【木更津】

6月はロシア船2隻、米材船1隻、南洋材1隻、在庫は増加傾向。

■印刷

【県内全域】

売上は5月と比較した場合増減まちまちの模様。今年は消費税率の上昇を見込んだ新年度分の駆け込み需要が3月中旬に上乘せされたため、5月中旬までの稼働率は低下した。下旬からは例年通りに稼働し、ほぼ6月一杯忙しく稼働した会社がある一方で、税率アップの影響もあり、受注の芳しくない会社からの報告や相談も聞かれた。

■電気鍍金

【県内全域】

当該月は受注量も9%ばかり上昇した。消費税増税の転嫁も順調に移行されたようである。この状態で推移していくことができればと思っているが、原材料、燃料等の値上がりが今後懸念材料だ。

鉄工

【千葉】

足元の各社動向は、ほぼ横ばい推移が続いており特段の変化は見られない。

■機械部品製造

【野田】

安定状況にあるが、原材料、ガソリン等の高騰が気になる。引き続き安定状況が維持することを期待したい。

■機械部品製造

【流山】

景気については、上向き傾向と停滞傾向の業種が出ており、不透明感がある。

■機械部品製造

【柏】

全体的には、増税・駆け込みに対する減少は当初見込みより少ないが、電力費、材料費の上昇が継続的にマイナス要素。今後の受注もまだら模様。

業界動向は、コスト競争激化、多様化に伴うニーズの高度化。

■金属製品製造

【船橋】

緩やかな改善傾向にあるが、先行きは不透明な部分が見られる。業界動向は、アベノミクス効果が徐々に表れ、生産高に反映している。

■採石

【県内全域】

6月は出荷が前月より増加したものの依然厳しい状況である。6

月以降に川崎港、東京港及び横浜・

南本牧港の地震対策事業の発注が見込まれるものの、燃料費の値上げやダンブやガット船などの輸送手段の縮小による影響が大きい。横浜港等スーパードック等の整備と羽田空港の一層のハブ化を図るための第5滑走路の建設を期待している。東京オリンピック施設建設のために岸壁整備は来年度になる予定。

【土砂採取】

在庫数量、販売価格、取引条件、収益状況、資金繰り等前回と大きな変化はなく、全般的に低調。

非製造業

【総合卸売】

消費増税後の4～5月は、受注量が減少したが、6月になり回復傾向。生産材関係は、受注の回復が早かったが、消費材では遅れている。納入先との力関係から、消費増税分の転嫁が充分には行われていない。ガソリン価格の高騰から、輸送コストが上昇し、採算性が低下。

【食肉卸売】

前月同様、と畜頭数の確保が厳しい。業界動向は、豚の病気が続発しており秋以降の出荷が懸念さ

れる。

【建築材料卸売】

【県内全域】

第一四半期の落ち込みは織り込み済み。6月は前年並み。盆明け頃から回復期待されるが不透明。業界動向は、セメント値上げはほぼ目標達成のため一段落。

【自動車解体】

【県内全域】

消費増税前の駆け込みの反動か、廃車在庫減の声が多い。鉄スクラップ単価はやや上昇。

【乾物卸売】

【県内全域】

引き続き低調。

【小売】

【茨城県】

消費税の増税により買い控えが続き、景気の落ち込みが見られる。景気の良いのは大企業であり、中小企業は不安定(売上の上昇・下降)がみられる。

【電気機器小売】

【県内全域】

今月も消費税駆け込み後で、売上は激減している。エアコンの買い替え需要はあるが依然厳しい。

【青果小売】

【千葉市】

商品切り替え時期のため、主力商品が少なく先月並みの売上はとれなかった。増税の影響はほとんどないようだ。

【中古車仕入・販売】

【県内全域】

増税後の新車販売の影響による

タマ不足傾向が続いているが、輸出は東南アジア、アフリカ向けを中心に増加している状況。相場は上昇し、仕入れには厳しい状況が続くと見られる。

【小売】

【東京都】

ファッション関連品が未だ回復せず。バーゲンに期待しているところである。食品関係は、ほぼ昨年対比と同じぐらいの数字であった。原材料の値上げ等で価格は上がってきている。全体的には今一步の状況である。

【小売】

【野田】

消費税増税後、4月、5月、6月と売上の減少で苦戦している。7月はバーゲンセールを早めて、売上の回復を狙う。

【小売・サービス】

【柏】

外税の事業者でもレジで表示価格に消費税が加算される事に抵抗感が無くなってきた。しかし事業者によって大幅売上減から微増まで業種によって大きな差が出てきているようだ。

【建設揚重】

【県内全域】

5月の横ばい状況。そこそこの稼働状況。

【一般廃棄物処理】

【千葉】

先月落ち込んだ分、前月比は良

かったものの、前年同月には及ばない状況。

【土木建築サービス】

【県内全域】

国土強靱化による事業量増額に期待している。

【建設】

【県内全域】

当連合会加入組合員の受注額は、9,637百万円と前月比プラス2,376百万円、前年同月比2,327百万円と比較的好調であったが、年度累計では、前年同期比マイナス1,723百万円にとどまる。地域別では11ブロック中8ブロックが前月比増加。北総・東総が好調である。

【貨物運送】

【野田】

4月までの消費税アップ駆け込み需要が落ち着いた気配だったが6月は思ったほど落ち込むことが無くほっとしている。これから暑い季節にむけて忙しくなる時季だが、激しい天候の変化には注意が必要である。

業界の動きについて、ネット販売の増加による配達輸送や倉庫での商品セット業務などの問い合わせが増えている。

【輸出入】

【県内全域】

6月の売上他は前月比、前年同月比とも不変であった。